



春爛漫 誠和藤枝病院

# せ は あ

藤枝市中ノ合 26-1  
 医療法人社団 やしまかい 八洲会  
 誠和藤枝病院  
 <054> 638-3111 (代)

診療時間  
 月～金 午前 9:00～午後 5:00  
 土曜日 午前 9:00～正午 12:00

## 趣味悠遊

誠和藤枝病院  
 袋井みつかわ病院  
 はいなん吉田病院  
 理事長 藤森 暁彦

私が以前少し勤務していた宇都宮の比企病院（療養型病院）の院長先生は、クラシックカーやクラシックカメラが好きで、何台も集めておられました。そして、「クラシックの代表である『老人』も好きですよ。」とよくおっしゃっていました。

私もクラシックは好きです。両親の影響もあり、子供の頃からクラシック音楽は今でもよく聞いております。骨董の趣味は持つておりませんが、高校の頃から古本屋に出入りすることが大好きで、今も続いています。しかし、いわゆる『古書肆』で扱う、古書、稀覯本（めったに見られない本）、初版本、限定本などにあまり興味は

ありません。いわゆる古本です。今は忘れ去られた本の中から、自分の興味にあつた本を、古本屋さんで見つけて読むこと

が好きです。こんな本を読んでいる人は日本中で（もちろん世界中で）自分しかいないのではないかと、内心優越感をもって、密かに読むことが楽しみです。ブックオフに行っても読みたい本はめったにない。

又、古本に関する本も興味があります。

出久根達郎という作家がいます。一九四四年茨城県に生まれ、貧しい生い立ちを過し、中学を卒業してすぐ東京佃島の古本屋に就職し、住み込み仕事を覚えました。そして高円寺で古書店『芳雅堂』を営むかたわら文筆生活にはいり、九三年『佃島ふたり書房』で直木賞を受賞しました。古書店、古本に関するエッセイや小説をたくさん書いております。彼は「どんなに読まれない本でも著者は心血を注いで書いたものだ。」と言っております。もう一人鹿島茂という人がおり

ます。共立女子大学の先生で、専門は一九世紀フランスの社会と小説です。一九世紀のフランスのロマンチック本（挿絵本）の収集地獄に落ち、その苦勞話を本にしています。『子供より古書が大事と思いたい』とか、『それでも古書を買いました』などの面白い本があります。正にビブリオマニア（狂的に珍本や高価な本を集める人）とはこの様な人の事をいうのでしよう。

私の住んでいる近くに、町立図書館があります。最近あまり読まれている古い本、雑誌、全集本、百科辞典などをリサイクル本として大量に放出しています。しかし今の時勢を反映してか、古くて汚い、かさばる本を持ってゆく人はほとんどありません。私は行く度に十冊位ずつもらってくるため、家がさらに古本だらけになってしまいました。家内は、あまりお金のかからない趣味と持っているのか、感心なことに文句は言いませんが、「このままでは鹿島先生の様に家が古本で埋まってしまうのではないか。」と心配しています。でも地震でも来て本の下敷きにもなつて死ねば、それも又幸せの人生ではないかと思えます。



## 新年度に向けて

看護師長 青木 美都

平成二十年も明け、早くも三ヶ月目に入りました。先日強い風が吹き、これは『南風』『春一番』だろうか、と思いながら、少しずつ日暮れが遅くなり暖かくなってきたかなと感じています。

さて、看護部では毎年、新年度を迎えるにあたり、看護部の目標を掲げ、看護・介護に取り組んでいきますが、今回は新年度の目標についての紹介をしたいと思います。

一、優しく手の届いたケアの実践  
①人としての尊厳が守られるよう言葉使い、態度に注意すること

②抑制をしない工夫を常に考えていくこと

③効果的な安全対策を考え、事故防止に努めること

二、職員のチームワークの充実と自己啓発に努める

①報告、連絡、相談を適切に行う

②申し送り、記載の見直しを図る

③病院内外の勉強会・研修会への積極的な参加

以上が八洲会の基本概念をもとにした看護部としての目標です。さらに、各病棟において、この目標が達成できるよう、具体的な方法を考えていきます。

医療職・技術職であるという自覚のもと、個々の人が目標に向かって力を発揮し、それが当院の力となり、信頼される病院となれますよう、新年度も努力していきたいと思えます。

## 仕事を通して思うこと

ケアマネージャー 菊田 和代

十年一昔と言いますが、当院に就職して二昔が過ぎようとしています。緑に囲まれたこの地は、田舎育ちの私には心休まる自然環境でした。夜明けの頃、鳥が数羽、整然と餌を啄ばみに来るのどかな風景は今でも思い出されます。開院当初ブラジルから来てヘルパーとして働いていた人達は、「山が迫っていて心苦しい」と言っていました。

今、在宅での介護を支える仕事に就かせてもらっています。利用者の方や介護をされている方から、



新春空手披露

生き方について学ぶことも多々あります。ご主人を二十年近く介護されている高齢の方なのですが、「主人がいてくれるからこそ、介護をさせてもらえる。返事が返ってこなくても話しかけることができる。ありがたいことだ。」と話して下さいます。この言葉を聞くと、私の生き方は『反省』の日々です。

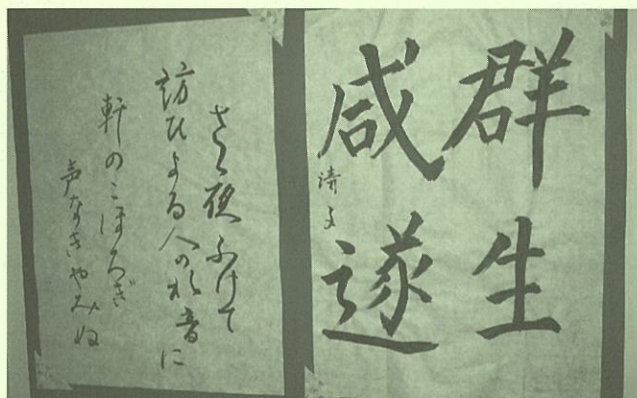
感謝を素直に口に出せるように、それが今後の幸せをもたらしてくれるでしょう。

## 自己紹介

事務(経理) 松永 春夫

六十一歳の今日まで信金マン一筋できた私にとって、誠和藤枝病院で働く機会を得た事は、神様の思召しとしてとらえ、一生懸命働く覚悟です。私の課題はまず、不安と期待の錯綜する中で兎に角明るく働く事です。

そんな私にとって親の介護を始め、今後必ず来るであろう老々介護の問題を考えると、医療介護に



利用者様作品 習字





お琴を聴きながら 職員参加劇『白雪姫』

携わる皆さんの献身的な活動は大いに頭の下がる思いでいっぱいです。  
患者様及びその御家族にとって喜ばれる医療や介護を提供するためには、健全な病院経営が求められます。スタッフの一員として、一日も早くお役に立ち愛される様、笑顔で頑張っていけます。宜しくお願ひします。

## 自己紹介

介護職員 細川糸工

日本人の嫁として、十年前に中国の遼寧省から来ました。日本に来て一年位に派遣会社から、病院清掃の仕事をお願いしました。日本語はあまり分かりませんが、周りの患者様からたくさん言葉を教えてもらい、心から患者様のことを応援してあげたいと思いました。「介護の仕事をしたいです。中国人でも介護の仕事ができますか？」と病院の責任者に相談しました。「何人関係なく、患者様の事を大事にして、一生懸命頑張れば、介護の仕事ができるようになります。」と言われ、勉強しホームヘルパー二級の資格を取り、病院の介護職員になりました。

昨年、十一月十二日から誠和藤枝病院の介護職員として入職し、2A病棟にいます。日本語はまだまだ分からないことばかりですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



## 紹介

2B病棟

介護職員 伊久美 博子

## 病棟

「ピンポン」「はい」「ピンポン」「行きます。」  
リハビリを目的とする2B病棟には、身体こそ不自由ではありませんが、元気な患者様が多く、その為にコールを通しての訴えも多岐にわたります。トイレはもちろん、「身体が痒い。」等々。コールが病棟に鳴り響く度に、私達は患者様の元へ駆け付けます。

定期的に行われる、ケアカンファレンスでは、患者様の現在の様子を



患者様作品『ひなまつり』



食前の体操風景

を職員で共有し合い、病棟会議では、穏やかに安心して過ごしていただく為の話し合いをしています。  
誕生会や四季折々の病棟レクリエーション、カラオケ大会や食前の体操などを実施し、コミュニケーションも図っています。  
病室やベッドが、それぞれの「家」である限り、私たちは、心穏やかに安全に過ごしていただく様に、お世話をさせていただきます。



# 柏餅

管理栄養士 蒔田 香織

端午の節句に代表的なお菓子です。柏餅に使われる葉の柏の木は、新芽が出ない限り古い葉が落ちないそうで、このことから家が絶えない、後継者が絶えることのない縁起のいい木として考えられ、柏餅はすでに室町末期頃から、広く食べられていました。でも今と違って中の餡は、味噌餡だったそうです。

柏餅のポイントは「練り」と「蒸し」。簡単な手順ですが、しっかり練ることと、蒸し時間を十分にとることが、美味しく作るコツです。市販の餡を利用するなどして、無理なく楽しく、柏餅を作ってみてはいかがでしょうか。

## <材料> (8ヶ分)

上新粉…120 g	水…………大さじ 3 杯～ (適量)
熱湯…… 90cc	
白玉粉… 50 g	粒あん…150 g
砂糖…… 20 g	柏の葉… 8 枚



## <作り方>

- ① 柏の葉を水洗いします。あんは8ヶに分けて丸めます。
- ② ボウルに上新粉を入れ、熱湯を加えます。箸で混ぜ、手で触れられるくらいになれば、良くこねます。濡れ布巾を敷いた蒸し器で15分蒸します。
- ③ 白玉粉と砂糖を合わせ、水を少しずつ加えて、粒が残らないように練ります。
- ④ ②が蒸しあがったら、布巾ごと水を取り、荒熱を取ります。生地を突きながら良くこね、③を加えて更に良くこねます。8等分にし、手水をつけながら、あんを包みます。
- ⑤ 蒸し器に並べ、更に強火で10分蒸します。荒熱をとり、柏の葉で包み出来上がりです。

## 職 員 募 集

- |          |        |
|----------|--------|
| ◎正・准看護師  | ◎理学療法士 |
| ◎作業療法士   | ◎言語聴覚士 |
| ◎介護支援専門員 | ◎介護職員  |

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで



四月で病院創立二十  
年目となり、人間で言  
えば成人に当たる節目  
の年です。

今後もより一層地域  
に密着した医療機関と  
して、皆様のお役に立  
てる様頑張りますので、  
宜しくお願いします。